

# 難民に衣類届けよう

世界中の難民に寄付する衣料を回収するイベント「5万着のHELP（ヘルプ）」（神戸新聞社後援）が6月11、12の両日、加古川市加古川町寺家町の商業施設「ニッケパークタウン」で開かれる。市民団体や企業などが協力する取り組みで、集めた古着などは国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）を通じて難民キャンプなどに届けられる。（辰巳直之）

世界各国で急増する難民。ユニクロを展開するを支援するとともに、難民ファーストリテイリングが問題への理解を深めてもらい、国内外で実施する「1000おとこ、市民団体「まちこ」0万着のHELP」の一環として聞く。

料店「ユニクロ」の有志らニッケパークタウンに勤務する青出木千夏さん(41)



難民のための衣料回収イベントを企画している実行委員会のメンバーらニッケパークタウン

## 来月、加古川 市民団体など回収イベント

が提案。2012年、当時働いていた千葉県市川市の商業施設で、ユニクロなどと協力して同様のイベントを開いた。その後、青出木さんは加古川市に転勤。今年に入ってから、まちこ加古川や、イベントを後援する加古川青年会議所などと準備を進めてきた。青出木さんは「家のタンスなどに眠っている服で、人の役に立てるのはとても有意義」と話す。

実行委員会では、過去の実績と周辺地域の人口などから回収の目標を5万着に設定。ユニクロ以外のブランドも受け付ける。衣料のサイズや性別などは問わない（帽子やベルトといった小物や下着、制服などは対象外）。

まちこ加古川会長で、実行委員長の虫島靖さん(39)は「良い状態で現地に送りたいので、洗濯済みの衣料を届けてほしい。イベントが、難民に関心を持つきっかけになれば」と話している。

両日とも午前11時～午後5時。持ち込みのみ。同タウン ☎079・421・8018